

結 で深まる兄弟学級の友情・団結・絆



各学年委員長による「選手宣誓」



新種目の「Tic-Tac-Toe」

2日(火)の午後、体育館において、「新入生歓迎会」を開催しました。ゲーム形式の新歓にして3年目、年々「進化」する、みんなが楽しめるプログラムと自治の力を保護者にもギャラリーから参観していただき、6つのゲームで各学級・兄弟学級で競い合いました。

その結果は、

- 1学年の部 優勝 1年1組
- 2学年の部 優勝 2年1組
- 3学年の部 優勝 3年1組
- 総合優勝 1組兄弟学級

※詳細は、次号で紹介いたします。お楽しみに…!!

1組兄弟学級が完全制覇!!

第 17 号
東江中学校
校長 神元 勉



琉球新報 2017年4月22日

善意相次ぎ1200万円に

妊娠約6カ月の台湾人女性(20)が沖縄旅行中の3月30日に県内で早産したという本紙報道を受け、出産などにかかる医療費支援を呼び掛けた県内在住の台湾出身者でつくる「琉球華僑総会」(張本光輝会長)には21日までに支援金が続々と寄せられた。同会によると、寄付金は21日午後6時現在、約1200万円に達しているという。出産は海外旅行保険の補償対象外で、費用は最低でも約600万円かかるとみられていた中、予想を上回る善意に張本会長は「多くの人の協力に感謝したい」とお礼を述べた。

女性の夫は「皆さんからの恩恵を

忘れず、今後社会に還元したい」と感謝し「赤ちゃんが元気に成長できるよう祈っている」と、話している。

同会は余剰金について、県に贈呈し今回のような事案への対応策や、さらなる医療機関の多言語対応、外国人患者向け医療サービス環境の構築などを求める予定という。

この日は大阪大学同窓会や浦添市の家族ら7組が那覇市久茂地の琉球華僑総会事務所を訪ね、寄付金を託した。20日には東京都の男性が開

張本光輝会長(中央)に寄付金を託す大阪大学同窓会の宮里達也さん(左端)と沖縄第一病院の宮城信雄理事長(同2人目)＝21日、那覇市久茂地の琉球華僑総会



した口座に500万円を寄付していた。関係者らは「とても感謝している。日本、沖縄と台湾のいい関係が改めて確認できてうれしい」と話した。

早産の台湾女性支援 余剰金、県に贈呈へ

沖縄の温かい心結ですな!

琉球新報 2017年4月30日

2017年4月30日

「石の袋を入れただけ」と冷静だ。その受け止めに、幾多の局面を乗り越えてきた県民の抵抗の歴史を感じる。

「復は困難」との報道の一方、市民らは「海の袋を入れただけ」と冷静だ。その受け止めに、幾多の局面を乗り越えてきた県民の抵抗の歴史を感じる。

「復は困難」との報道の一方、市民らは「海の袋を入れただけ」と冷静だ。その受け止めに、幾多の局面を乗り越えてきた県民の抵抗の歴史を感じる。

金口木舌

新年度が始まり、1カ月が過ぎた。新たなステージに進んだ人、節目を迎えた人たちの印象に残る言葉は…21年の競技人生に別れを告げた、フィギュアスケートの浅田真央さん(26)。引退会見で「気持ちも体も全部出し切ったので悔いはない」。笑顔と涙で新たな目標を持ち、前に進むことを表明した▼熊本地震から1年。西原村の追悼式で、遺族代表の男性(47)は「迷い、悩み、苦しみながらそれでも命が続いていることを実感し、人生に向き合っていくことこそ復興だ」と述べた。被災者の生きる姿勢を、新しく就任した復興相にも学んでほしい▼ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイさん(19)が、国連平和大使に就任した。任命式で「明るい将来を見なければ誰かが動くのを待つのではない、自分の中から動かないといけない」と演説した。女子教育の権利向上に取り組む▼動くことで何かが変わると信じ、米軍キャンプ・シユワブゲート前では、連日市民が新基地建設反対を訴える。「私が止める。あなたが止める。共に頑張ろう」。座り込み千日の節目を1日に迎えた▼沿岸部の埋め立て工事が始まり、新基地建設は新たな局面へ。「(海の)原状回復は困難」との報道の一方、市民らは「石の袋を入れただけ」と冷静だ。その受け止めに、幾多の局面を乗り越えてきた県民の抵抗の歴史を感じる。